

Ⅲ 今後のまちづくりの課題とその対応方針

3つの検証項目の結果や市民へのヒアリング、地域委員会での検討結果を踏まえ、今後のまちづくりの課題と対応方針をまとめた。

<主な課題>

◆住民サービス、基盤整備などの推進

- **機動的な支所機能の実現**
 - ・ 市民からの要望、苦情への迅速な対応
 - ・ 町内会、関係団体との連携強化
- **支所空き部屋の有効活用**
 - ・ 地域団体の活動拠点
- **まちづくりの推進（特に過疎集落の維持）**
 - ・ 地域間道路、コミュニティバス、CATVなどのネットワーク整備
 - ・ 子育て、教育、高齢者福祉などの施設整備
 - ・ 下水道の整備と加入率の向上
- **制度調整の推進**
 - ・ 上下水道料金、消雪パイプ電気料など
- **各種経済団体との連携によるまちづくり**
 - ・ 農業団体、商工会との連携による産業活性化
 - ・ 観光協会との連携による地域観光の推進

◆市民力、地域力の向上

- **地域委員会の継続【長岡方式の地域自治の推進】**
 - ・ 全市的な視点での住民主体のまちづくりの議論
 - ・ 支所と一体となった地域課題の整理
- **コミュニティセンターの整備**
 - ・ 町内会や各種団体との連携強化
 - ・ コミュニティの組織化支援（人材育成、人材確保）
- **町内会への活動支援**
 - ・ 集落機能の維持（防災、除雪、見守りなど）
- **NPOなど地域づくり団体の支援【地域コミュニティ事業補助金など】**
 - ・ 活動団体の立上げ支援
 - ・ 活動団体の自立に向けた支援
- **地域の宝物の活用【ふるさと創生基金事業など】**
 - ・ 各地域の宝物を発見してもらう地域間交流の支援
 - ・ 各地域の宝物をつなぎ、新たな魅力を創り出す地域間連携の強化

<今後の対応>

これらの課題の解決に向けて、各種経済団体や町内会、NPOなどの地域づくり団体と連携を深めるとともに、長岡方式の地域自治を推進し、これまで以上に住民と行政が一体となったまちづくりに取り組んでいく。